

強制配転 - 新たに21名 6/1 ただちに職場へもどせ!

日刊 勤労千葉

87. 6. 3
No. 2566

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)
(鉄電)二九三五(六) (公衆)〇四七二(22)七二〇七

六月十一日の発令強行を許すな!

六月一日、千葉運行部は五月八日の三六名にひきつづき、新たに二一名に対して営業係兼務の事前通知を強行してきた。過員を理由とした強制配転を断じて許すな。

一月足らずで五七名の配転

当局は「営業の欠員を運転の過員から補充する」と称し、五月八日に三六名(駅・二一名、直営売店・十五名↓うち勤労千葉二一名)を強制配転したが、六月一日、さらに二一名に対し千葉から浅草橋間(一名のみ館山駅)の各駅の営業係兼務の事前通知を行い、六月十一日付で発令を強行しようとしている。内訳は次のとおりである。

- 習志野電車区 12名
 - 勤労千葉 1名 国労 2名
 - 鉄産労 5名 技能協 4名
- 幕張電車区 7名
 - 勤労千葉 2名 国労 5名
- 銚子運転区 1名 (勤労「本部」)
- 館山運転区 1名 (勤労千葉)

当局は強制配転をやめろ

こうした配転攻撃は、本人の意志や生活を無視した一方的なものであることはもとより、労働条件の大巾な変更であるにもかかわらず、労働組合との団体交渉も全くなからないうまま強行してきており断じて許すことはできない。

われわれは怒り心頭に発している。当局は本人の意志を尊重したうえで、業務の内容、兼務の期間等を直ちに団交の場で明らかにしろ。われわれは将棋の駒ではないのだ。この怒り、くやしさを燃えあがらせ、必ずや反撃の炎に点火してやる。

すべての組合員は、強制配転された仲間間の苦闘を共有し、当局の差別・分断策動を許さず、闘いぬこうではないか。

中曾根の軍事大団 化粉碎！5・31北富士闘争！

5月31日、北富士において、檜丸尾死守・梨ヶ原奪回・日米共同演習断固粉碎・5・31北富士全国総決起集会(主催、北富士忍草母の会)が、全国から八二〇名を結集し開催された。

勤労千葉は、山梨県警の不当な検問をはねのけ、初参加の家族会と共に結集した。中曾根政権は、侵略・軍大化へ向けた訓練をするため、東富士と北富士の24キロを結び、日米共同で実弾演習をしようというのだ。

これに対し、入合組合と忍草母の会は、八八年演習場使用協定粉碎を掲げ、「中曾根政権もろとも日本の軍事大団化路線をおし返す北富士闘争の世紀の大爆発をかちとろう!」と決意も新たに宣言した。



梨ヶ原演習場での集会后、忍草母の会を先頭にデモ行進する参加者。日米共同演習粉碎!